

「関西俳句バトル2025」開催について

このたび、関西学生文芸連合では、2025 年 1 月に、「関西俳句バトル2025」を実施することといたしました。「関西俳句バトル」は、俳句甲子園形式に則り、句作力および鑑賞力を競おうとするものです。

「俳句甲子園」には、毎年多くの高校が参加しており、俳句文化の浸透、そして句作・鑑賞両面の技術向上に大きな役割を果たしています。また、各地で俳句甲子園各支部が主催し、練習会や勉強会が開催されています。ただ、俳句甲子園の形式それ自体は非常に優れたものでありながら、その形式を生かす機会はあまりありません。また、荒川区と開成学園が共催している「中高生俳句バトル in あらかわ」などの、俳句甲子園形式を用いた大会を見れば、「俳句甲子園」においてよりも自由闊達に鑑賞していることが窺えます。そこで、関西地区においてそのような機会が少ないことに鑑み、学生団体である関西学生文芸連合が主体となって「関西俳句バトル」を開催することとしました。つきましては、関係の各方面にお知らせする次第です。以下に関西学生文芸連合の詳細を記載しておりますので、ご参照ください。種々のご都合あらうと思われませんが、趣旨に鑑み、ご容赦頂ければ幸いです。

(関西学生文芸連合について)

1. 関西学生文芸連合の概要

関西学生文芸連合は、2017 年に灘校文藝部を中心に、関西学生文芸部連合として設立された団体です。当初は学校の部活動単位で、顧問の先生方にもご協力をいただいて運営していましたが、学校や部活動単位で参加することが困難な生徒や、文芸部がない学校の生徒も受け入れるべく、旧来の学校や部活動という枠組みを廃し、それらとは無関係に、構成メンバーのみで運営する組織として、2018 年に関西学生文芸連合と改称し再出発しました。

現在は、関西圏の、文芸活動に興味がある中学生および高校生が、学校や部活動の枠組みを超えて、自分たちの力で文芸誌『息吹』の発行などを行っています。先述のように、個人単位でメンバーを募集しており、学校で文芸部などに所属していない生徒、また学校に文芸部がない学校の生徒も所属しています。現在、灘、大阪桐蔭、長田、三田学園など、約 20 校、100 名程度の生徒が参加しています（LINE グループ実績）。

2. 関西学生文芸連合 組織概要（2024 年 10 月現在）

・要職者一覧

(会 長)      (学校名)                      (学年)

(副会長)

(副会長)

(会 計)

組織図（2024 年 10 月現在）

